

# 足利風 -ashikaga-fu

2018  
12月号  
Vol. 59



書：風喜人

## 足利市民活動センター

開館時間：平日 午前10時～午後7時

〒326-0051

栃木県足利市

大橋町1丁目2006-3

TEL 0284(44)7311

FAX 0284(44)7312

mail info@shimin-act.jp

HP <http://www.shimin-act.jp>

HP QR コード



☆ ご案内 ☆

- \*特集！
- \*TOPICS
- \*私のボランティアことはじめ
- \*サークル紹介
- \*インフォメーション
- \*センターからのご案内

## \* 天国へゆく道普請を・・・ \*

「正造は天国へゆく道ぶしんのまっ最中で多忙です・・・」と手紙に書いた田中正造は、その活動の場である下野・谷中村を“人道の稽古場”とした。

“所有”よりも“生存”を優先させる日々を生きた正造の言う「どこまでもじぶんでやるせいしん」を持った地域住民としての“ありよう”が現在(いま)、私たちに問われている

～「私自身が土地という自然の一部というか、風土の精霊という気がしています。」と語る石牟礼道子さんの活動の場は熊本・水俣だった。いのちの公共哲学を育む場は“谷中学”と“水俣学”と言われる。石牟礼道子さんが創ったお経がある～流々草花(るーるーそーげ)遠離一輪(おんりーいちりん)莫明無明(ばくめいむーみょう)未生億海(みーしょうおくかい)～胎児性水俣病の子どもたちと絆を結べた“はからい”を感謝している。



～生き地獄のような思いをして、平穰から引揚げて来た五木寛之少年には、焼け跡の“闇市”のにぎわいが極楽浄土に見えた、という。その著「蓮如」の中で、蓮如の活動の場であった寺内町・吉崎御坊(現福井さわら市)は、運命共同体として自治的な町だった。そこで暮らす人々の歓びに満ちたふるまいが、当時の荒れすさんだ他の土地に比べて訪れる人たちの目には極楽浄土のように映ったという。

～石を投げられたり殺してやるとの脅迫に対して、マザー・テレサは「どうぞ殺さない。私は天国に行きます。でも、私が死んだあとは、あなた方でこの施設をやってください」と言って命がけで、ヒンドゥー教の寺院の一角に“死を待つ人の家”というカトリックの施設を作った。マザー・テレサの活動の場はインド・コルカタだった。

時代は異なり、地域も違うが、それぞれの“いのち”の現場は、まさに「人道の稽古場」であった・・・と、言える。

(M生)

## \* NPOが続々と時代の新しいページを拓く！ \*

新しい時代の潮流が刻一刻と激変する中で、足利のNPOたちも多様多彩なキーワードを掲げて果敢なチャレンジを日々、実践しています。子育て中のお母さんたちのための“フリーペーパー”を発行するNPO法人「おともり」。鹿児島と足利での演劇公演の経費を“クラウドファンディング”に挑戦し調達したNPO法人「PPP45<sup>o</sup>」。新しいライフスタイルを“看護学”等の専門性を駆使して提案・実践するNPO法人「地域に開かれた里山ウエルネス」などなど。魅力的なNPOが、“市民協働のまち・足利”に続々と誕生しています。明治期に全国注視の社会貢献団体・足利友愛義団を生み育てた街・足利の真価が試される時代になっているのです。

## \* 私と絵手紙 \*

齋藤 博



私の気持は只今青春真最中です。  
と、云うのは絵手紙をかいており、常に美しい物や、季節の移ろいのすばらしさに感動し胸をときめかせているからです。この感動とときめきこそが青春なのです。

絵手紙は日常見聞きしたこと、心に響いたことを感じたままに絵と文で表現するものです。ですから時には言葉では云いにくい事でも本当の気持ちを素直に表現する事が出来、相手に感動を贈る事が出来るのです。仮に絵心がなくとも文才がなくとも誰に遠慮することもなく楽しめる……それが絵手紙なのです。

いつまでも心は青春でいたいと老いた胸をときめかせております。



## \* 特定非営利活動法人「地域に開かれた里山ウエルネス」の設立について \*

齋藤 ゆみ

今、国は医療費の削減も意図して地域包括医療を推進することを決めました。「包括」の解釈はさっておき、医療費逓減の第一は高齢者が最後まで自分らしく健康に人生を全うすることです。しかし、多くの人は定年で一旦社会から身を引くと、家に引きこもり、毎日を如何に過ごすかが大問題になります。私はこれまで看護の研究者として、人が本来保持している「自己治癒力」を活性化することは「健康に生きること」であることを実証してきました。つまり、引きこもり程、うつ状態や病気を引き起こす要因はないのです。

高齢者が加齢によって増加する心身の不調や病にさらされても、「自己治癒力」を活性化し、「健康に生きる」ためには、いくつかの条件が必要です。つまり心身に問題が生じたとき適切なサポートが得られること、自分の生きた経験が他人や社会に役に立っていることを知ること、また、それによって生きがいや自己価値を見出せること、生活の中に笑いを持てることなどです。そしてこれらは多くの他者とのつながりがなくては達成できない条件なのです。

このような考えから、一旦現役を退いた社会経験豊富な人々が、自らの健康と共に、広く地域に住む人々の「健康で豊かな生活＝ウエルネス」に寄与することを目的にした、NPO 法人「地域に開かれた里山ウエルネス」を立ち上げました。

そのために実施する活動は次の5項目です。

- 1) 健康に関する知識の伝達や健康相談による支援活動
- 2) ヨガや瞑想、音楽などによる心身の活性化を目的とした支援活動
- 3) 高齢者や若者の相互理解と生きる知恵の伝承のための「対話と交流」の場の提供
- 4) 余剰資源などの有効活用による環境保全と地域活性化の活動
- 5) 語学教室や異文化交流の場の提供

皆さん、一緒に我が里山でのウエルネスに挑戦しませんか!!

## ① インフォメーション ①

### MERRY CHRISTMAS & A HAPPY NEW YEAR!

みなさまにおかれましては、本年も、足利市民活動センターへの心温まるご支援ご協力をいただきまして誠にありがとうございました。おかげさまで数多くの魅力溢れる方々が私どもの活動に新しく参加されて来ております。また、足利市内外から、私どもの活動に対しまして、身に余る高い評価をいただいております。心より感謝申し上げます。

来たる新年2019年も、より皆様にご満足していただけますよう、尚一層努力して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

足利市民活動センター指定管理者・NPO法人足利の風理事長 鈴木光尚

### 「まちの縁側」～読書サロンへのご招待～

★12月21日(金) 14:00～16:00

\* 本 : 地獄の思想(梅原 猛)

\* 案内人: 白田 明 さん

★ 1月12日(土) 10:00～12:00

\* 本 : 道誉なり(北方謙三)

\* 案内人: 鈴木 光尚 さん

■会場: 足利市民活動センター

■参加費: 無料

■お問い合わせ・事務局: 足利市民活動センター ☎44-7311

### \* センターからのご案内 \*

#### ☆みんなの広場 ～ 12月・1月のご案内 ～

\*表紙原画展 展 ～書と石のコラボ～ (11月26日～12月 6日)

\*わが心の達磨(ダルマ) 展 (12月10日～12月27日)

\*足利の古建築 今昔物語 展 ( 1月 8日～ 1月17日)

\*遠い日のふるさと展 ( 1月21日～ 1月31日)

#### ☆相談室&講座のご案内

\*相談室 = 毎月第2・第4水曜 午後2時～4時 ※詳しくは、別紙参照

\*講 座 = 毎月1回 午後7時～9時 ※詳しくは、別紙参照

#### \* 編集後記 \*

今年も残すところあと1月となりました。振り返ると今年は災害等が多かったため、改めて防災への関心と人との関わり・連携を高めていきたいと思いました。皆様はこの1年いかがでしたか？来年も皆様にとって健やかで素敵な1年になりますように。(すずうさぎ)